

平成 28 年 2 月 29 日
九州職業能力開発大学校

九州工業大学と交流協定締結

九州職業能力開発大学校と九州工業大学は、平成 28 年 2 月 29 日に交流協定を締結しました。両校に在籍する学生が相互の授業科目や実技・実習を受けて、単位を取得できる制度です。

本校のメリットとして、本校の実技・実習などの授業科目が高いレベルであるという評価が得られたこと、学生がさらに学びたい興味ある授業科目（座学）を受講し、技術者・研究者を育成するための工学的・学術的な取り扱いを学べることが挙げられます。

一方、九州工業大学のメリットとして、本校が所有する企業と同等な設備を使用した実践的な実技・実習を受講して、生産現場の環境の下での技能訓練の実情を知ることができること、さらに、4 年制大学ではあまり取り上げられていない安全衛生の重要性を、企業に入る前に身をもって感じるができることが挙げられます。

毎年、本校の応用課程の卒業生が 4 年制大学の大学院へ進学していますが、本協定により大学院進学への道がさらに広がり、将来のものづくり産業を担う実践技術者の育成に大きな第一歩となることが期待されます。

● 協定書について

[「九州工業大学と九州職業能力開発大学校による教育及び訓練に関する交流協定書」](#)

※ 下線部の文字をクリックすることで、内容をご覧いただけます。

以上